

## 株主・投資家とのコミュニケーション

### 建設的な対話の充実

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、株主・投資家の皆さまの理解が不可欠であると認識しています。株主・投資家の皆さまと長期的な信頼関係を築くため、井関グループの経営方針をわかりやすい形で説明する等、建設的な対話を重視したIR活動を行っています。

#### 株主重視の株主総会の運営

株主の皆さまが出席しやすい環境を整え、株主重視の総会運営を図っています。

議決権行使の円滑化に向けてインターネットによる議決権の電子行使を可能にしています。

また、井関に対する理解を少しでも深めて頂くことを目的に、事業内容報告のビジュアル化を行っています。

#### 公平かつ適時適切な情報開示

建設的な対話の充実に向けて公平かつ適時適切な情報開示を実施しています。

また、インサイダー情報については規程を策定し、適切な管理を行っています。なお、決算期末日の翌日から決算発表日までは、サイレント期間とし、投資家との対話を制限しています。

#### IR活動での対話の充実を図るために

IR担当部署を設置し、IR活動の充実に努めています。

アナリスト・機関投資家向けに、四半期毎に役員による説明会を開催しています。

また、個別ミーティング、電話ミーティング等もIR担当部署が中心となり行っています。対話の内容は、会議体での報告やレポートの配布等により、経営層及び関係部門にフィードバックし、情報の共有を図っています。

個人投資家の皆さまとの対話の機会を充実させるため、個人投資家向けIRセミナーの開催やホームページでの開示情報の充実に取り組んでいます。

また、製造所や「夢ある農業総合研究所」の見学会を実施し実際に施設や取り組みをご覧いただくことで、より理解を深めていただいています。